

第2回 栃木県立益子芳星高等学校 学校運営協議会 報告

開催日時 令和3年10月14日(木) 14:00~16:00

開催場所 本校会議室、体育館 等

出席委員 岡 良一郎 大森 威樹 加藤 義勝 大塚 昌哉
永嶋 祐子 篠原 泰三 佐藤 広志 君島 芳一

1 開会

2 会長挨拶

県内で気になっている特例校が2校ある。1つは茂木高校で「地域おこし協力隊」として駿台予備校の講師など2名が生徒の学力向上のために活躍している。もう1校は日光明峰高校。スポーツに力を入れていたが、県内初のeスポーツ部が出来た。それぞれ学校を存続させるために工夫している。

3 校長挨拶

コロナ感染防止のための緊急事態宣言で1時間遅れの始業開始、40分に短縮した授業、部活動の時間制限、黙食など対応を行ってきた。これからも体育祭、文化部発表会、マラソン大会、修学旅行など行事が続くので気を緩めずに対応していきたい。修学旅行は1日短縮して実施予定。

バイク通学許可については他の学校の情報を収集して現在検討中。

4 協議

(1) 一体験学習実施状況報告

8/9の緊急事態宣言以降に予定していた学校は中止になったが、本校は8/6に実施することが出来た。従来は保護者や引率の教員含めて400名ぐらいの参加で体育館にて実施していた。コロナ対策と熱中症対策を考え、細かく教室を分けてコンパクトに開催した。中学生が高校生活をイメージしやすい内容を心がけた。アンケートの結果、殆どの生徒に学校の特色が理解してもらえた。

岡 コロナ禍の中、学校の工夫が伝わってきた。

(2) インターンシップ事業「職業人と語る」実施報告

実施時期はワクチン接種もすすんでおらず、企業も状況が読めない、保護者も不安が多い時期でインターンシップは出来なかった。現在はワクチン接種もすすんでいるので、来年はインターンシップが実施できると良いが、出来たとしても「職業人と語る」は続けていきたい。

9割以上の生徒が「わかりやすい・内容が良かった」、全員が「学ぶことがあった」とアンケートの結果が良かった。しっかり職業観、勤労

観を学ぶことが出来た。

- （補足）昨年インターンシップの代替案として登場した企画であるが、この運営協議会で「地元の方やOB・OGを」という意見があった。元気寿司の社長はOBであり、大畑接骨院院長は委員に紹介していただいた。
- 元気寿司に就職する生徒の有無は。
- 昨年度1名就職。今年度は希望者がいなかった。

（3）進路状況報告

資料訂正 ~~大学入試センター試験~~ 大学入試共通テスト

昨年度は6：4で進学者の割合が多かったが、今年はコロナの影響もあるのか5：5。コース制が機能してそれぞれの専門学校への進学が上手くいっている。今年度はペット系が人気で6月中に定員が満了した学校もあった。大学は作新、共和、白鷗、国際医療福祉、日大など。短大は作新短大、國學院など。

就職者の9割は内定済み。管内の求人倍率は0.81で周辺校との戦いになっている。業種では観光とアパレルが厳しいので希望している生徒は苦勞している。

管内は製造業ならほぼ採用していただけるが、男子をほしがっている企業が多い。しかし本校は女子のほうが成績がいいので女子を宇都宮や筑西などの県内外の優良企業に流すようにしてバランスをとっている。ファナックや日産などに大量に採用していただけた。卒業生が頑張ってくれているおかげだと思っている。

まだ内定していない生徒はアパレル系など厳しい業種を希望している生徒のみ。

公務員は5名が受験し、3名が一時通過。二次に向けて頑張っている。

（4）益子未来大学報告

益子未来大学アクションプラン発表会見学

（5）益子芳星高等学校の魅力化、特色化に関する意見交換

- 生徒のアクションプラン発表会を見学して幸せな気分になった。町に反映されると良い。
- 一日体験の映像資料はどのようなものだったのか？
- 生徒会の生徒が部活動などを撮影し、生徒会担当の教員が10分程度の内容に編集した。学校案内については令和4年度から教育課程が変わっ

て6つのコースにリニューアルする説明や、学校概要、特別活動を中心に教員が作成した。数年ごとに新しいものを作成していきたい。

- 一日体験に参加して入学した生徒の人数は？
- 調査はしていないが、生徒の話を聞くと半数以上の生徒は参加していると思われる。
- 「職業人と語る」のアンケート結果がこれだけ良いのなら他のクラスにも体験させたら良いのではないか？
- インターンシップは就職を希望する生徒が体験するという流れで実施していた。
このアンケート結果を踏まえてLHRなどを利用して他の学年もキャリア教育の一環として進めていきたい。
- 「職業人と語る」の評判が良い理由は？
- 生徒からの希望で振り分けて、質疑応答が気軽に行える形式。内容もかなりかみ砕いて理解しやすい。
- 講師の方が近くに感じられるのが良い。
- 生徒の発表会を最後まで聞けなかったのは残念。自分たちの経験をどんどんアウトプットしてもらいたい。
- 「町民のつどい」にて一般の方にもみていただく機会がある。
- 未来を創る高校生指定校になった。今回の発表の中からセレクトしたものをリーフレットにして外部の方にもみていただく予定。
- 小中学校は地域連携教員が担当しているが、高校の担当者は？
- 学年ごとにそれぞれの担当者が対応している。
- 中学校の立場から見て、とても魅力を感じる。学校をいかに特色化するかよく考えて実践していると感じる。
- 学校から広く発信するうえで苦勞していることなどは？
- 一番身近な手段はHP。栃木県の事業に指定されたことを活用して、生徒達が作成したポスターセッションを小中学校に掲示して、近くの学校がこんな活動をしていると知ってもらえると良い。
- 町の広報誌や公民館のフロアは利用できるのか？
- 公民館は協力しやすい。
- 高校生が考えている図書館は面白い。寝てもOkなど善し悪しはあると思うが、そのような意見を発表できる場があることが素晴らしい。他の高校生に面白そうと思ってもらえる。職業人とだけでなく「大学生と語る」の企画があっても良いのでは？
- 大学見学はどこが主体で実施しているか？
- 保護者の大学見学はPTA、生徒の見学は学校が企画している。

- 益子町は高校生の意見をよく反映してくれる。高校生も自分たちの声をきいてもらえる。そのようなイメージが良い。
- 真面目に地元のことを考えてくれているということが、もっと地元伝わると良い。一般町民はあまりわかっていない。伝わればもっと地元の生徒がふえるのではないか。
- コース選択の参考になるように、1年生の段階でもっと職業選択の幅を広げてほしい。
- 6つのコースについて、服飾や映像は？ビジネスについては起業も含めてはどうか。情報スポーツについてはよくわからない。
発信力を高めて頑張ってもらいたい。
益子町は芳星高校の力を信じている。繋がりを大切にしていきたい。

(6) その他

第3回は3月に実施予定。入試状況の報告など